

仙台赤門短期大学

教員の研究活動（2021年1月～2023年12月）

目次

I	原著論文・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 ページ
II	学会発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8 ページ
III	総説・著書・教科書・辞典・その他の印刷物・・・・・・・・	16 ページ
IV	各種講演会での講師・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19 ページ
V	学会・看護協会などでの役職・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23 ページ

I 原著論文

(青野都)

伝統医療看護連携研究 第3巻第2号 p. 82-92

妊婦健診未受診の母親に対する助産師の困難と対応～分娩から退院まで～

(浅野志保)

熟練看護師による終末期がん患者と家族間の対話支援に関する内容分析、浅野志保、古瀬みどり、北日本看護学会誌、24(2)、13-24、2022年

COVID19に対応した教育用電子カルテ活用による学内実習の実際、藤原美加、鈴木慈子、浅野志保、立石和子、伝統医療看護連携研究、3(2)、52-58、2022年、DOI https://doi.org/10.34511/jstn.3.2_52

ループリックを用いた成人看護学実習（慢性期）評価の分析 学生評価と教員評価の一致度からみる検討、鈴木慈子、藤原美加、浅野志保、安倍藤子、石母田由美子、立石和子、伝統医療看護連携研究、4(2)、49-57、2023年、DOI https://doi.org/10.34511/jstn.4.2_49

認定・専門看護師の終末期がん患者と家族間の対話支援の実際、浅野志保、古瀬みどり、北日本看護学会誌、25(2)、7-17、2023年

看護師の終末期がん患者と家族間の対話支援自己評価尺度の開発、浅野志保、SGHがん研究報告、33、132-134、2023年

看護師の終末期がん患者と家族間の対話支援自己評価尺度の開発、浅野志保、古瀬みどり、日本看護科学会誌、43、154-163、2023年、DOI <https://doi.org/10.5630/jans.43.154>

(石母田由美子)

大地震発生時の災害急性期における病棟運営を担った看護師長の行動 日本看護管理学会誌、1巻、236-244頁 2021. 石母田由美子，原 玲子。

新型コロナウイルス感染症流行時における，仙台赤門短期大学の対応 伝統医療看護連携研究，2巻2号，20-24頁，2021. 佐竹正延，石母田由美子，立石和子，井上由紀子，大沼由香，菊池真，熊谷英樹，鈴木慈子，宮崎智子，富士原

秀, 佐藤喜根子.

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行下における看護学生への就職支援
仙台赤門短期大学の場合 伝統医療看護連携研究, 2 巻 2 号, 38-43 頁, 2021.
石母田由美子, 岡田康平, 木村涼子, 鹿野卓子, 杉本篤美, 鈴木博美, 佐藤修子,
藤原美加, 小野寺武徳, 佐藤喜根子.

COVID 19 に対応した教育用電子カルテ活用による学内実習の実際 伝統医療看護
連携研究 3 巻 2 号, 52-58 頁, 2022. 藤原美加, 鈴木慈子, 浅野志保, 立石
和子, 石母田由美子.

(越川暢恵)

介護から学ぶ看護師に必要な倫理観～看護教員として看護学生に伝えたいこと
～ 鹿野 卓子, 鈴木 博美, 越川 暢恵, 平尾 由美子
伝統医療看護連携研究, 4 (2), 30-38, 2023.

(佐竹正延)

Transcription factors Runx1 and Runx3 suppress keratin expression in
undifferentiated keratinocytes. Int. J. Mol. Sci., 23, 10039. 2022.
Ogawa, E., Edamitsu, T., Ohmori, H., Kohu, K., Kurokawa, M., Kiyonari,
H., Satake, M., and Okuyama, R.

東洋医学・伝統医療に通院する患者の属性等調査 伝統医療看護連携研究
4 巻 19-29 頁 2023. 松田静香、高橋貞夫、袖村華歩、成田悦子、國分壮一、國
分俊繁、安斎昌弘、坂本正憲、佐竹正延

(佐藤喜根子)

東日本大震災年に誕生した子を持つ父親の震災 5 年目の心身の健康状態と影響
要因: 樋渡麻衣、佐藤喜根子 学術論文奨励賞
母性衛生 2021 第 61 巻第 4 号 p516～524

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行下における看護学生への支援-仙台
赤門短期大学の場合-: 石母田由美子、岡田康平、木村涼子、鹿野卓子、杉本篤
美、鈴木博美、佐藤修子、藤原美加、小野寺武徳、佐藤喜根子; 伝統医療看護連
携研究 2 (2) p38～43

コロナ禍で実施されたオンライン (オン・デマンド型) 教育の学修への影響: 佐

藤喜根子、立石和子、大沼由香、佐藤浩一郎、日本伝統医療看護連携研究, 3(2), 25-33, 2022

コロナ禍での外出自粛生活中的のジレンマ～学生の本音をレポートから探る～：
佐藤浩一郎、菊地真、佐藤修子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究, 3(2), 34-42, 2022

新型コロナウイルス感染症流行下での子育て中の母親の生活の変化と心身の健康状態：石川恵子、青野都、木村涼子、大桐規子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究, 3(2), 43-51, 2022

看護学校養成所カリキュラム第5次改正への対応～仙台赤門短期大学看護学科の場合～：佐竹正延、佐藤浩一郎、金野明子、立石和子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究, 3(2), 144-147, 2022

大学病院所属助産師の出向経験を通して抱いた思い：小寺由理、佐藤喜根子、母性衛生, 第64巻第4号, p81-89, 2023,

(佐藤浩一郎)

コロナ禍での外出自粛生活中的のジレンマ

—学生の本音をレポートから探る—

佐藤浩一郎、菊地真、佐藤修子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究
2022, 3(2), 34-42

コロナ禍で実施されたオンライン（オンデマンド型）—教育の学修への影響—
佐藤喜根子、立石和子、大沼由香、佐藤浩一郎、日本伝統医療看護連携研究
2022, 3(2), 25-33

看護学校養成所カリキュラム第5次改正への対応～仙台赤門短期大学看護学科の場合～：佐竹正延、佐藤浩一郎、金野明子、立石和子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究, 2022, 3(2), 144-147

(鹿野卓子)

伝統医療看護連携学会：2021（第2巻第2号）

論文：「短期大学看護学生の地域共生型サービスでの学生の学び ～フィールドワークを通して～」 鹿野卓子・大沼由香

論文：「新型コロナウイルスパンデミック期における在宅看護実習による学生の

学び」 大沼由香・星純子・鹿野卓子

日本伝統医療看護連携学会

「在宅におけるフットケア教育の現状と課題」 共同

(島倉蓉子)

Asai, A., Okita, T., Shimakura, Y., Tanaka, M., & Fukuyama, M. (2023). Japan should initiate the discussion on voluntary assisted dying legislation now. BMC Medical Ethics, 24(1), 5. 2023 Feb 1;24(1):5. doi:10.1186/s12910-023-00886-0.

(鈴木慈子)

COVID-19 に対応した教育用電子カルテ活用による学内実習の実際. 藤原美加、鈴木慈子、浅野志保、立石和子、石母田由美子. 伝統医療看護連携研究, 3(2), 57-58. 2022

一般病棟に勤務する看護師の患者・家族とのコミュニケーションにおける曖昧さへの態度および感情対処傾向と終末期ケアへの態度との関連. 鈴木慈子、古瀬みどり. Palliative Care Research, 18(1), 79-87, 2023

ループリックを用いた成人看護学実習評価の分析～学生評価と教員評価の一致度からみる検討～. 鈴木慈子、藤原美加、浅野志保、安倍藤子、石母田由美子、立石和子. 日本伝統医療看護連携研究, 4(2), 49-57, 2023

(鈴木博美)

新型コロナウイルス感染症 (COVID19) 流行下における看護学生への就職支援 : 仙台赤門短期大学の場合
第 2 回日本医療看護連携学会 伝統医療看護連携研究会
第 2 巻第 2 号 p38～ p 43 (2021) 石母田由美子、岡田康平
木村涼子、鹿野卓子、杉本篤美、鈴木博美、佐藤修子、藤原美加、小野寺武徳、佐藤喜根子

在宅におけるフットケア教育の現況と課題～国内外の文献レビューから～ 伝統医療看護連携研究, 第 3 巻第 2 号, pp123-129(2022) 鈴木博美、鹿野卓子、平尾由美子

病棟勤務等から訪問看護業務に移行した看護師が感じる戸惑いや困難～1年間の変化～伝統医療看護連携研究, 第3巻第2号, pp64-72(2022) 平尾由美子、鈴木博美、大桐四季子、佐藤富子

在宅療養高齢者にフットケアを届けるために—在宅フットケアプロトコルの開発(解説), 平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子 地域ケアリング 24巻7号, 67-71, 2022.07.

介護から学ぶ看護師に必要な倫理観～看護教員として看護学生に伝えたいこと～ 鹿野卓子、鈴木博美、越川暢恵, 平尾由美子
伝統医療看護連携研究, 4(2), 30-38, 2023.

(高橋育子)

高橋育子, 佐藤幸子, 今田志保, 櫻田香: 乳児を対象とした看護職のスキンケア指導に関する実態とその背景の検討. 山形大学紀要(医学) 2022; 40(2): 37-49

高橋育子, 佐藤幸子, 今田志保, 櫻田香: 東北地方の養育者の乳児に対するスキンケアに関する実態. 日本小児臨床アレルギー学会誌 2023; 21: 303-313

(平尾由美子)

病棟勤務等から訪問看護業務に移行した看護師が感じる戸惑いや困難—1年間の変化—: 平尾由美子、鈴木博美、大桐四季子、佐藤富子, 日本伝統医療看護連携, 第3巻2号(掲載決定)

在宅におけるフットケア教育の現況と課題 国内外の文献レビューから: 鈴木博美、鹿野卓子、平尾由美子, 日本伝統医療看護連携, 第3巻2号(掲載決定)

鈴木博美、鹿野卓子、平尾由美子: 在宅におけるフットケア教育の現況と課題—国内外の文献レビューから, 日本伝統医療看護連携, 第3巻2号, 123-129, 2022.

平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子: 在宅療養高齢者にフットケアを届けるために—在宅フットケアプロトコルの開発(解説), 地域ケアリング 24巻7号, 67-71, 2022.07.

鹿野卓子, 鈴木博美, 越川暢恵, 平尾由美子: 介護から学ぶ看護師に必要な倫理観～看護教員として看護学生に伝えたいこと～, 伝統医療看護連携研究,

4 (2), 30-38, 2023.

(藤原美加)

藤原美加, 宗田貴恵 Partnership Nursing Systemにおける教育研修のあり方.
日本医療看護連携学会誌 第2巻第2号 46-54頁 2021年3月

(星純子)

モーツァルト K448 及び J. S. バッハ BWV1049 を用いた音楽聴取中における
循環動態及び自律神経活動の経時変化に着目した検証 東北大学大学院医学系
研究科 博士論文 2021. 星純子

新型コロナウイルスパンデミック期における在宅看護実習による学生の学び
日本伝統医療看護連携学会誌 2巻 65-73頁 2021. 鹿野卓子、星純子、大沼由香

Listening to J.S. Bach's "Brandenburg Concerto No. 4 in G Major" May
Suppress the Sympathetic Nervous Activity. Tohoku. J. Exp. Med., 259,
85-91, 2023. Hoshi, J., Sasaki, K., Maruyama, R.

II 学会発表

(浅野志保)

遺族会での「わかちあい」がもたらす緩和ケア病棟スタッフのグリーフケアに対する認識の変容、浅野志保、牛坂朋美、第3回日本グリーフ&ビリーブメント学会学術大会、Web開催、2021年

死因を問わず大切な人を亡くされた方を対象とした「わかちあいの会」の報告—14年間の活動の歩みと今後の課題—、滑川明男、浅野志保、牛坂朋美、佐藤利憲、近藤等、第3回日本グリーフ&ビリーブメント学会学術大会、Web開催、2021年

終末期がん患者と家族間の対話を支援する際の認定・専門看護師の判断と行動、浅野志保、古瀬みどり、第28回日本家族看護学会学術集会、福岡、2021年

Support by expert nurses for dialogue between patients with terminal cancer and their families, Shiho Asano, Midori Furuse, 14th Asia Pacific Hospice Palliative Care Conference, Web, 2021年

終末期がん患者と家族間の対話支援について熟練看護師が語った事例の特徴—「良かったと感じた事例」と「後悔が残ると感じた事例」の分析—、浅野志保、古瀬みどり、第24回北日本看護学会学術集会、山形、2022年

Examination of the content validity of nurses' self-assessment scale for supporting dialogue between terminally ill cancer patients and their families, Shiho Asano, Furuse Midori, The 42nd Annual Conference of Japan Academy of Nursing Science, Hiroshima, 2022年12月3日

Development of a self-assessment scale for nurses to enhance dialogue support between terminally ill cancer patients and their families, Shiho Asano, Midori Furuse, 26th East Asia Forum of Nursing Scholars Secretariat 2023 (EAFONS2023), Tokyo, 2023年

緩和ケアに携わる鍼灸師資格を有する訪問看護師の実践、浅野志保、佐藤喜根子、第5回日本伝統医療看護連携学会学術大会、福岡、2023年

(安倍藤子)

「新型コロナウイルス感染対策により実習の学びに影響を受けた新人看護師の育成への課題」 第 22 回日本赤十字看護学会学術集会 オンライン 2021 年

(石母田由美子)

大地震発生時の災害急性期における病棟運営を担った看護師長の行動：石母田由美子、原 玲子 第 25 回，日本看護管理学会学術集会(福岡) 2022. 8. 19

(井上由紀子)

第 41 回 日本科学学会学術集会 ポスター発表

(小野八千代)

在宅看護学の教科書における「フットケア」に関する記載内容の傾向：平尾由美子、小野八千代、小笠原祐子，第 41 回日本看護科学学会学術集会 (名古屋) 2021

看護系大学の看護教員が抱える課題－国内文献から考察する－：小野八千代、平尾由美子，第 41 回日本看護科学学会学術集会 (名古屋) 2021

(越川暢恵)

日本伝統医療看護連携学会

「看護師と介護福祉士の基礎教育の内容の比較による一考察－よりよい協働・連携のために－」発表

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城)「医療・福祉現場における看護と介護の違いに関する文献検討」～業務上の役割と区分の視点から～鈴木博美、鹿野卓子、越川暢恵、平尾由美子 第 4 回日本伝統医療看護連携学会学術大会抄録集 P35

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城)「看護師と介護福祉士の基礎教育の内容の比較による一考察」～よりよい協働・連携のために～越川暢恵、鹿野卓子、鈴木博美、平尾由美子 第 4 回日本伝統医療看護連携学会学術大会抄録集 P31

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城)「介護から学ぶ看護師に必要とされる倫理観」～看護学生に伝えたいこと～鹿野卓子、鈴木博美、越川暢恵、平尾由美子第 4 回日本伝統医療看護連携学会学

術大会抄録集 P32

第 5 回日本伝統医療看護連携学会（於福岡）2023 年 11 月

「訪問看護師の離職の要因と防止策に関する文献レビュー」鈴木博美、越川暢恵、
鹿野卓子、平尾由美子

（金野明子）

第 32 回心身健康科学学会（ハイブリッド開催）

若年女性の月経困難症と心身相関

埼玉県蓮田市 2021 年 9 月

第 4 回日本伝統医療連携学会 2022 年 11 月

呼吸法の活用によるリラクゼーション効果

～不眠に関する国内文献レビューから～

（坂本智恵子）

第 82 回 日本公衆衛生学会 発表

「地域在住高齢者の生活満足感と要介護認定の関連：岩手県北地域コホート研究」

（佐藤喜根子）

宮城県南在住の子育ての現状と出産に関するニーズ調査：石川恵子、青野都、木村涼子、星富美恵、石川陽子、佐藤睦子、大桐規子、佐藤喜根子

宮城看護学会 第 15 回学術集会（仙台）2021. 11. 10

緩和ケアに携わる鍼灸師資格を有する訪問看護師の実践-終末期にある療養者とその家族に対する実践-：浅野志保、佐藤喜根子

第 5 回日本伝統医療看護連携学会（福岡）2023. 11. 25

（佐藤浩一郎）

第 31 回学術集会 日本看護学教育学会 コロナ禍における看護短大生の学修への影響 -Web アンケート調査結果より-

2022 第 3 巻第 2 号 伝統医療看護連携学会 看護師学校養成所カリキュラム第 5 次改正への対応・・・仙台赤門短期大学看護学科の場合

第4回日本伝統医療看護連携学会 呼吸法の活用によるリラクゼーション効果
～不眠に関する国内文献レビューから～

(鹿野卓子)

日本伝統医療看護連携学会

「介護から学ぶ看護師に必要な倫理観」(学会賞)

共同：「看護師と介護福祉士の基礎教育の内容の比較による一考察～より良い協働・連携のために～」

共同：「医療・福祉現場における看護と介護の違いに関する文献検討～業務上の役割と区分の視点から～」

(鈴木慈子)

臨地実習における看護学生の気づきの育成ー臨床判断モデルを基盤とした記録用紙の活用ー. 藤原美加、鈴木慈子、森岡薫、立石和子. 日本看護学教育学会第31回学術集会(オンライン), 2021

宮城県 A 市における地域包括支援センターの自主活動グループの立ち上げ支援の特徴と課題. 大沼由香、加藤美幸、工藤美由紀、鈴木慈子、工藤うみ、芳賀博. 第26回日本在宅ケア学会学術集会(広島), 2021

COVID-19 禍の臨地実習における看護学生の気づきと臨床判断能力の育成ー臨床判断モデルを基盤とした記録用紙の活用ー. 藤原美加, 鈴木慈子, 森岡薫, 立石和子. 第3回日本伝統医療看護連携学会学術集会(オンライン), 2021

Nurses' attitudes towards ambiguity and end of life care and their relationship to emotional coping strategies in relationships with patients and families. Chikako Suzuki, Midori Furuse. 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (in Taiwan) , 2022

地域包括支援センターが行う介護予防自主活動の創出と継続の支援構造と課題. 大沼由香、太田ゆきの、加藤美幸、鈴木慈子、芳賀博. 第24回日本健康支援学会年次学術大会(福岡), 2023

震災復興を契機とした健康づくりのための自主活動グループの成長過程. 太田

ゆきの、鈴木慈子、芳賀博、大沼由香. 第 24 回日本健康支援学会年次学術大会 (福岡), 2023

住民自主活動グループの活動継続の特徴—10 年以上活動しているグループリーダーの語りから—. 太田ゆきの、鈴木慈子、芳賀博、大沼由香. 第 65 回日本老年社会学会大会 (横浜), 2023

介護予防自主活動を支援する委託型の地域包括支援センターの課題—東北の中核都市 4 市のインタビュー調査結果の比較—. 大沼由香、太田ゆきの、加藤美幸、鈴木慈子、芳賀博. 第 65 回日本老年社会学会大会 (横浜), 2023

(鈴木博美)

第 2 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 (於横浜) 「在宅におけるフットケア教育の現況と課題」～国内外の文献レビューから～鈴木博美、鹿野卓子、平尾由美子

第 2 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会抄録集 P138

第 2 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 (於横浜) 「在宅療養高齢者のフットケアプロトコールの開発」～プロトコール原案の評価 第 1 報～平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子

第 2 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会抄録集 P139

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城) 「医療・福祉現場における看護と介護の違いに関する文献検討」～業務上の役割と区分の視点から～鈴木博美、鹿野卓子、越川暢恵、平尾由美子 第 4 回日本伝統医療看護連携学会学術大会抄録集 P35

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城) 「看護師と介護福祉士の基礎教育の内容の比較による一考察」～よりよい協働・連携のために～越川暢恵、鹿野卓子、鈴木博美、平尾由美子 第 4 回日本伝統医療看護連携学会学術大会抄録集 P31

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 (於宮城) 「介護から学ぶ看護師に必要とされる倫理観」～看護学生に伝えたいこと～鹿野卓子、鈴木博美、越川暢恵、平尾由美子 第 4 回日本伝統医療看護連携学会学術大会抄録集 P32

第 13 回日本腎臓リハビリステーション学会学術集会（於埼玉）「在宅療養高齢者のフットケア・プロトコール原案の評価（第 2 報）」平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子 第 13 回日本腎臓リハビリステーション学会学術集会抄録集 P295

第 5 回日本伝統医療看護連携学会（於福岡）2023 年 11 月
「訪問看護師の離職の要因と防止策に関する文献レビュー」鈴木博美、越川暢恵、鹿野卓子、平尾由美子

（高橋育子）

高橋育子，本間恵美：乳児のスキンケア指導を行う看護職の認識と指導の実態 第 34 回東北小児喘息アレルギーケア研究会 Web 令和 3 年 7 月

本間恵美，高橋育子：小児アレルギーエデュケーターの活動の実態に関する検討 第 37 回日本小児臨床アレルギー学会 Web 令和 3 年 7 月

高橋育子、本間恵美、今田志保、佐藤幸子：乳児を対象とした看護職のスキンケア指導に関する実態とその背景の検討 第 38 回日本小児臨床アレルギー学会 東京 令和 4 年 7 月

Ikuko T, Yukiko S, Shiho K, Kaori S: A survey of skin care for infants by caregivers in the Tohoku region Japan 26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023 Tokyo 令和 5 年 3 月

高橋育子，櫻田香：スキンケア指導のために必要な知識とスキル 第 39 回日本小児臨床アレルギー学会 福岡 令和 5 年 7 月

高橋育子，本間恵美：養育者の乳児に対するスキンケアに関する実態調査 第 36 回東北小児喘息アレルギーケア研究会 Web 令和 5 年 7 月

（寺田みゆり）

第 4 回日本伝統医療看護連携学会 巣看護論文 動画発表（開催日：2022 年 11 月 27 日）

呼吸法の活用によるリラクゼーション効果～不眠に対する国内文献レビューから～

(平尾由美子)

在宅看護学の教科書における「フットケア」に関する記載内容の傾向：平尾由美子、小野八千代、小笠原祐子，第41回日本看護科学学会学術集会

看護系大学の看護教員が抱える課題－国内文献から考察する－：小野八千代、平尾由美子，第41回日本看護科学学会学術集会

在宅におけるフットケア教育の現況と課題－国内外の文献レビューから－：鈴木博美、鹿野卓子、平尾由美子，第2回日本フットケア・足病医学会学術集会

在宅療養高齢者のフットケアプロトコルの開発－プロトコル原案の評価 第1報－：平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子，第2回日本フットケア・足病医学会学術集会

越川暢恵、鹿野卓子、鈴木博美、平尾由美子：看護師と介護福祉士の基礎教育の内容の比較による一考察～よりよい協働・連携のために～，伝統医療看護連携研究，4巻1号，p31.

鈴木博美、越川暢恵、鹿野卓子，平尾由美子：医療・福祉現場における看護と介護の違いに関する文献検討～業務上の役割と区分の視点から～，伝統医療看護連携研究，4巻1号，p48.

鹿野卓子、鈴木博美、越川暢恵、平尾由美子：介護から学ぶ看護師に必要とされる倫理観～看護学生に伝えたいこと～，伝統医療看護連携研究，4巻1号p32.

平尾由美子、小笠原祐子、立石和子、東本恭幸、鈴木博美、鹿野卓子：在宅療養高齢者のフットケアプロトコルの開発－プロトコル原案の評価 第2報－，第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会プログラム・抄録集，p295.

清水恵、河田萌生、中本五鈴、服部ゆかり、板橋みずほ、伊東美緒、内田陽子、大橋由基、崎山恵里那、志賀悠、杉本健太郎、鈴木峰子、杉本知子、其田貴美枝、東山公美、平尾由美子、藤本遼、南琴子、Qi Lin、Shao Xinxia、河野光伸、榎本雪絵、亀井智子、尾崎章子：認知機能低下のある在宅高齢者の睡眠改善への高照度光に関する介入および夜間の音楽聴取の介入の有効性：システムティックレビュープロトコル，第28回日本在宅ケア学会学術集会プログラム集，P1-7-1.

平尾由美子、小笠原祐子フットケアはじめの一步～観察のポイントとケア～（ミニレクチャー）、伝統医療看護連携研究, 5 (1), p 51.

鈴木博美、越川暢恵、鹿野卓子、平尾由美子：訪問看護師の離職の要因と防止策に関する文献レビュー、伝統医療看護連携研究, 5 (1), p 48.

（藤原美加）

藤原美加, 鈴木慈子, 森岡薫, 立石和子：COVID-19 禍の臨地実習における看護学生の気づきと臨床判断能力の育成（第 3 回日本伝統医療看護連携学会, 2021 仙台市 Web 学会）

藤原美加, 鈴木慈子, 森岡薫, 立石和子：臨地実習における看護学生の気づきの育成（日本看護学教育学会 第 31 回学術集会, 2021 名古屋市 Web 学会）

藤原美加、布施淳子：中規模病院の看護管理者による看護師の配置転換の決定要因（第 27 回日本看護管理学会, 2023 東京）

（星純子）

Do the responses of autonomic nervous activity during listening time differ depending on the progression of music? Junko Hoshi, Konosuke Sasaki, Shiori Yoshida, Fumiko Sato, Ryoko Maruyama 第 99 回 日本生理学会大会（仙台）

（森岡薫）

3 年過程の看護専門学校における新人教員の自己研鑽：森岡薫、原玲子：第 31 回日本看護学教育学会（2021 年）

臨床実習における看護学生の気づきの育成—臨床判断モデルを基盤とした記録用紙の活用：藤原美加、鈴木慈子、森岡薫、立石和子：第 31 回日本看護学教育学会（2021 年）

日本看護学教育学会（2023 年、8/26, 27）

理事会企画：「経験知から考える災害時の看護教育の継続について」：話題提供

III 総説・著書・教科書・辞典・その他の印刷物

(浅野志保)

日本家族看護学会 研究奨励賞受賞記事 ウェブニュース 第 18 号
<https://jarfn.or.jp/newsletter/doc/webnews/newsletter18.pdf>

笹川保健財団 研究助成を受けた論文が受賞した件について
<https://www.shf.or.jp/information/18152>

(安倍藤子)

災害看護教育の現在-東日本大震災から 10 年を経て 石巻赤十字看護専門学校の災害看護教育 教育内容の変化と展望 2021 年 3 月 看護教育 (医学書院 62 巻、pp. 221-227)

ループリックを用いた成人看護学実習 (慢性期) 評価の分析～学生評価と教員評価の一致度からみる検討 2023 年 3 月 伝統医療看護連携研究 (4 巻 2 号 pp. 49-55) (共同著書)

(井上由紀子)

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論. 医学書院 執筆
プライマリ・ケア看護学 小児期から成人期への移行期支援 執筆

(菊地真)

佐藤浩一郎、菊地真、佐藤修子、佐藤喜根子 コロナ禍での自粛生活中的のジレンマ～学生の本音をレポートから探る～ 伝統医療看護連携研究 第 3 巻第 2 号 2022. P. 34～42

(熊田真紀子)

高齢者のナイトケア 看護協会出版会 編集 尾崎章子・坪井桂子
著者 尾崎章子、坪井桂子、大橋由基、藤田 愛、石橋信江、岸上弥栄美、秋定真有、上田 愛、熊田真紀子 2023 年 4 月

(佐竹正延)

新型コロナウイルス流行時における、仙台赤門短期大学の対応
伝統医療看護連携研究 2 巻 20 -24 頁 2021. 佐竹正延ら 11 名

解説：新型コロナウイルス 東北大学加齢医学研究所、研究会同窓会
加齢研ニュース 75号 8-12頁 2021年6月 佐竹正延

看護師学校養成所カリキュラム第5次改正への対応 伝統医療看護連携研究
3巻 144-147頁 2022. 佐竹正延ら 5名

解説：新型コロナウイルス 東北大学加齢医学研究所、研究会同窓会
加齢研ニュース 77号 10-14頁 2022年6月 佐竹正延

競争 vs 無競争 全私学新聞 2023年4月3日発行 佐竹正延

仙台白百合女子大学キリスト教研究所、編「いのちと霊性」2023年
第2章「生命へのアプローチといのちへのアプローチ」44-75頁 佐竹正延

(佐藤喜根子)

助産学講座 9「地域母子保健・国際母子保健」：災害の定義や種類、災害サイクルと各期の対応、東日本大震災時の地域母子保健の実情, 医学書院, 204 - 215, 2021. 佐藤喜根子他 9名

新型コロナウイルス感染症流行時における、仙台赤門短期大学の対応：佐竹正延、石母田由美子、立石和子、井上由紀子、大沼由香、菊地真、熊谷英樹、鈴木慈子、宮崎智子、富士原秀、佐藤喜根子, 日本伝統医療看護連携研究 (2) p20~24, 2021

助産学講座 9「地域母子保健・国際母子保健」：災害の定義や種類、災害サイクルと各期の対応、東日本大震災時の地域母子保健の実情, 医学書院 204 - 215, 2022. 佐藤喜根子他 9名

伝統医療と看護の最大公約数～源流を探り、未来につなぐ～：佐藤喜根子, 日本伝統医療看護連携研究, 3(2), 18-24, 2022

(佐藤浩一郎)

コロナ禍での外出自粛生活中的のジレンマ
—学生の本音をレポートから探る—

佐藤浩一郎、菊地真、佐藤修子、佐藤喜根子、日本伝統医療看護連携研究
2022, 3(2), 34-42

コロナ禍で実施されたオンライン（オンデマンド型）—教育の学修への影響—
佐藤喜根子、立石和子、大沼由香、佐藤浩一郎、日本伝統医療看護連携研究
2022, 3(2), 25-33

看護学校養成所カリキュラム第5次改正への対応～仙台赤門短期大学看護学科
の場合～：佐竹正延、佐藤浩一郎、金野明子、立石和子、佐藤喜根子，日本伝統
医療看護連携研究, 2022, 3(2), 144-147

(鹿野卓子)

地域ケアリング：2022Vol. 24No. 7

「在宅療養高齢者にフットケアを届けるために」—在宅フットケアプロトコ
ルの開発— 共同

(鈴木慈子)

新型コロナウイルス感染症流行時における、仙台赤門短期大学の対応. 佐竹正延、
石母田由美子、立石和子、井上由紀子、大沼由香、菊地真、熊谷英樹、鈴木慈子、
宮崎智子、富士原秀、佐藤喜根子. 伝統医療看護連携研究, 2(2), 20-24, 2021

(平尾由美子)

高齢者へのフットケアに関する研究（専門家インタビュー）：Web 記事健達ねつ
と【専門家インタビュー90】(株)メディカル・ケア・サービス 運営，2023 年年
1 月 22 日公開.

(藤原美加)

石母田由美子，岡田康平，木村涼子，鹿野卓子，杉本篤美，鈴木博美，佐藤修子，
藤原美加，小野寺武徳，佐藤喜根子 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行
下における看護学生への就職支援：仙台赤門短期大学の場合 日本伝統医療看
護連携学会誌 第2巻第2号 38～43頁 2021年3月

鈴木慈子，藤原美加，浅野志保，安倍藤子，石母田由美子，立石和子 COVID-19
に対応した教育用電子カルテ活用による学内実習の実際 日本伝統医療看護連
携学会誌 第3巻第2号 52～58頁 2022年3月

鈴木慈子，藤原美加，浅野志保，安倍藤子，石母田由美子，立石和子 ルーブリ
ックを用いた成人看護学実習（慢性期）評価の分析～学生評価と教員評価の一致
度からみる検討～ 日本伝統医療看護連携学会誌 第4巻 第2号 49～55頁
2023年3月

IV 各種講演会での講師

(浅野志保)

修正版 Grounded Theory Approach を使った家族ケアの研究例 がん終末期の妻と死別した高齢男性の新たな日常性構築プロセス、山形ファミリーナーシング研究会、山形大学医学部看護学科棟第2講義室、2023年11月11日

(安倍藤子)

兵庫県ジュニア防災リーダー研修会でグループワーク助言者

東日本大震災の経験から看護に求められること (愛知県) 津島市立看護専門学校戴帽式記念講演 2021年

東日本大震災の経験から看護に求められること 石巻赤十字看護専門学校震災を語り継ぐ日講演 2022年

自助・共助力を強化して若い力を発揮する環境作りを目指す 第60回全国大学保健管理研究集会シンポジウム 横浜市 2022年

自助・共助力を強化して若い力を発揮する環境作りを目指す(東日本大震災の経験から) 令和4,5年愛知県教務主任養成講習会で講義 2023年

(小野八千代)

総合南東北病院看護研究研修会、総合南東北病院会議室、講師「質的研究について」2021.7

(熊田真紀子)

宮城県臓器移植院内コーディネーター研修会の講師 (令和3年9月)

松島病院看護部 看護記録についての研修講師 (令和4年11月)

(金野明子)

宮城県立白石工業高等学校 保健講話講師「心とからだのバランスを整える」2022年

宮城県立白石工業高等学校 保健講話講師「ストレスと上手に付き合おう」2023年

(佐藤喜根子)

- 「医療の中の看護-期待される看護職！」宮城県古川工業高校 2021. 5. 12
「心と体をバランスよく整えよう - ストレスとの上手な付き合い方を考える -」
宮城県白石工業高校 2021. 12. 8
「宮城県助産師出向事業の経緯：成果と課題」宮城県助産師出向事業報告会：
2022. 2. 26, 仙台
「超高齢社会の日本 期待される看護職！」石巻市立桜坂高等学校 2022. 7. 13
「SDG s と看護」東北文化大学附属高等学校 2022. 9. 16
「女性の健康課題と助産師の役割」宮城県助産師出向事業研修：2023. 2. 25, 仙台
「看護職とは…」福島県立相馬高等学校 2023. 6. 1
「超高齢社会で期待される看護」秋田県立北鷹高等学校 2023. 6. 28
「超高齢社会の日本 期待される看護職！」石巻市立桜坂高等学校 2023. 7. 5
「看護教育の変遷と現状」仙台赤門医療専門学校 2023. 9. 13

(鹿野卓子)

宮城県介護職員等による喀痰吸引など研修事業

講義：保健医療制度とチーム医療

：健康状態の把握

(鈴木慈子)

日本死の臨床研究会教育研修ワークショップ「死の臨床に活かすコミュニケーション～スピリチュアルケアを目指して」：企画運営、ファシリテーター. オンライン. 2021～2023年（年間3～4回）

第45回日本死の臨床研究会年次大会 教育研修委員会企画ワークショップ「スピリチュアルケアとコミュニケーション『こんな時、あなたならどうする』」企画運営、ファシリテーター. 福岡・オンライン. 2021

第10回「岩手がんを考える会」研修会「看護師の意欲を育てる看護研究を考えよう！」ファシリテーター. オンライン. 2022

日本緩和医療学会誌 (Palliative Care Research) 編集委員会第19回WEB抄読会「一般病棟に勤務する看護師の患者・家族とのコミュニケーションにおける曖昧さへの態度および感情対処傾向と終末期ケアへの態度との関連」発表者. オンライン. 2023

ホームナーシング in 気仙「コミュニケーションについて一緒に学んでみませんか？」研修会 企画・運営・ファシリテーター. 2023

第 44 回日本死の臨床研究会年次大会 教育研修委員会企画「共に学びましょう『死の臨床に活かすコミュニケーション～緩和ケアの鍵はコミュニケーション～』」企画・運営・講師. 松山. 2023

(高橋育子)

乳児のスキンケア最前線：講師 新潟市助産師会 令和 5 年 7 月

赤ちゃんからできるスキンケアと食物アレルギー対策講座：講師 気仙沼市 令和 5 年 12 月

夢を拓く中、高校生のためのキャリアサポート：講師 国際ソロプチミスト 山形県立東桜中学校・高等学校 令和 5 年 3 月

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 4 月 27 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 4 月 27 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 5 月 20 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 5 月 26 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 6 月 1 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 6 月 28 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 仙台市 令和 5 年 7 月 20 日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 多賀城市 令和5年7月27日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 利府町 令和5年8月8日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 大崎市 令和5年8月9日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 石巻市 令和5年8月19日

子供の食物アレルギー緊急時対応体験型出前セミナー：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 多賀城市 令和5年11月8日

こどもの食物アレルギー出張研修会：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 角田市 令和5年12月5日

こどもの食物アレルギー出張研修会：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 石巻市 令和5年12月12日

こどもの食物アレルギー出張研修会：講師 東北大学クリニカル・スキルスラボ 大崎市 令和5年12月15日

(平尾由美子)

総合南東北病院看護研究研修会講師「研究テーマの見つけ方」(9/1)

(星純子)

「心身の健康回復、促進に役立てたい音楽の力」東北大学大学院医学系研究科 第18回 がん看護学分野講演会 2021.11.12, 仙台

V 学会・看護協会などでの役職

(浅野志保)

日本がん看護学会 専任査読者
北日本看護学会 専任査読者

(安倍藤子)

日本赤十字社健康生活支援講習 指導員
宮城県石巻西高等学校評議員
宮城県専任教員養成講習会「看護教育課程演習」指導講師 (2021年)

(井上由紀子)

一般社団法人 日本小児看護学会 指名理事 (2021年から2023年), 総務委員
同 専任査読員
一般社団法人 看護研究学会 広報委員

(小野八千代)

伝統医療看護連携研究学会 査読委員
宮城県総合南東北病院看護研究指導 (年3回)
宮城県総合南東北病院看護研究指導窓口

(菊地真)

日本伝統医療看護連携学会理事 (2022年4月～)

(熊田真紀子)

宮城県総合南東北病院看護研究指導 (令和4年～5年 年3回)
宮城看護学会 第16回学術集会 学会座長 (令和4年12月)
日本看護学会 抄録査読委員 2024年2月～
認定看護管理者会 東北ブロック役員
認定看護管理者会 北海道・東北ブロック研修 企画・運営 (令和5年7月・11月)

(越川暢恵)

日本赤十字社幼児安全法 指導員

(金野明子)

日本伝統医療看護連携学会 査読委員
日本精神保健学会 査読委員 (2021～2022 年)
社会医療法人将道会総合南東北病院看護研究指導 (年 3 回)
宮城県看護協会仙台北支部 会計

(佐藤喜根子)

日本女性心身医学会 評議員 査読委員
日本周産期メンタルヘルス学会 顧問
日本伝統医療看護連携学会 副会長
宮城県母性衛生学会 名誉理事
学都仙台コンソーシアム大学窓口
宮城県助産師出向コーディネーター (看護協会)
宮城県性教育協議会委員
宮城県男女共同参画審議会委員

(佐藤浩一郎)

日本伝統医療看護連携研究学会 査読委員

(鹿野卓子)

宮城県介護職員による喀痰吸引等研修事業 講師

(鈴木慈子)

日本死の臨床研究会 教育研修委員
日本死の臨床研究会 本部事務局幹事、代議員、東北支部役員
日本伝統医療看護連携学会 査読者
日本ファシリテーション協会 災害復興委員会活動メンバー

(高橋育子)

日本小児看護学会 査読委員
日本小児臨床アレルギー学会 e-ラーニング委員

(平尾由美子)

宮城県総合南東北病院看護研究指導 (年 3 回)
日本看護学教育学会査読委員 (演題査読)
北日本看護学会査読委員 (1 編査読)
日本伝統医療看護連携学会査読委員 (2 編査読)

日本伝統医療看護連携学会理事（11月～）

宮城県看護協会職能委員として一般市民に向けたイベント「まちの保健室」を企画・実施

（藤原美加）

日本伝統医療看護連携学会査読員

（星純子）

日本伝統医療看護連携学会 査読委員

（森岡薫）

日本赤十字看護学会評議員

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害看護部門研究員（2023年3月まで）

日本伝統医療看護連携学会 査読者（2023年3月まで）